

げんき！にこにこ！ まちのっこ その9

低学年は保護者の方と一緒に読みましょう

結核予防週間を知っていますか？

9月24日（火）～9月30日（月）

結核は現代の病気です

日本では、年間2万人を超える人が新しく患者となり、約2千人がなくなっています。1日に62人が新しくかかり、6人が亡くなっているということになります。結核は、平成19年の特定感染症予防指針において、正しい知識を広めるようにとされている病気です。

結核という病気を知り、結核にかかった人を避けることなく、また、病気が広がらないための対策を早く、正しくできるようにしましょう。

次の4つの症状があったら、受診しましょう。

1. 微熱が2週間以上続く
2. せきが2週間以上続く
3. 急に体重が減った
4. からだがだるい

24 29 30 結核予防週間

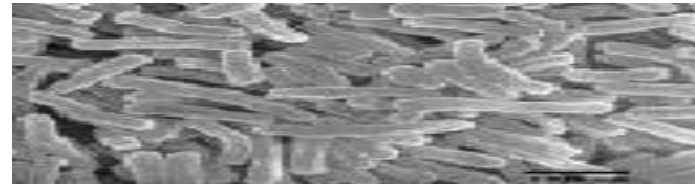
微熱が2週間以上続く
せきが2週間以上続く
急に体重が減った
からだのだるい

こんな症状が続いたら、結核かもしれないよ！

「体がだるい？」
「咳が治らないの？」
それって結核かも…

詳しくはこちら▶

結核という病気はどのようにかかるのかな？



←
けっかく
きんです。

結核菌を吸い込んで感染しても、ほんとうに結核という病気になるのは、10人に1～2人ほどです。結核菌を吸いこんでも、全員が結核になるわけではないのです。

体の免疫の働きによって、結核菌が増えない場合は病気になりません。しかし結核菌はしぶとい菌なので、免疫の力だけでは菌を完全に殺すことはできません。そのため、体の中に残った結核菌は、ねむっている状態で生き続け、私たちの免疫力が弱るチャンスをひそかにねらっています。

小さい子どもやあかちゃん・高齢者など免疫力が低い人たちや、生活習慣病がある、栄養状態が悪いなどで免疫力が低くなっている場合に、結核菌は増えて病気になることがあります。（下図参照）

結核菌に弱みを見せないようにするにはまいにちの健康管理が大切です。



結核かどうかを調べる検査

